

平成28年8月2日 低気圧に伴う出水で
やぎさわ ぼうさいそうさ
矢木沢ダムは、防災操作を行いました。

防災操作により矢木沢ダムに全量を貯留（約46万 m^3 ）

矢木沢ダム流域では、8月2日11時頃から20時までの累計で、
27.9mmの降雨量を観測しました。

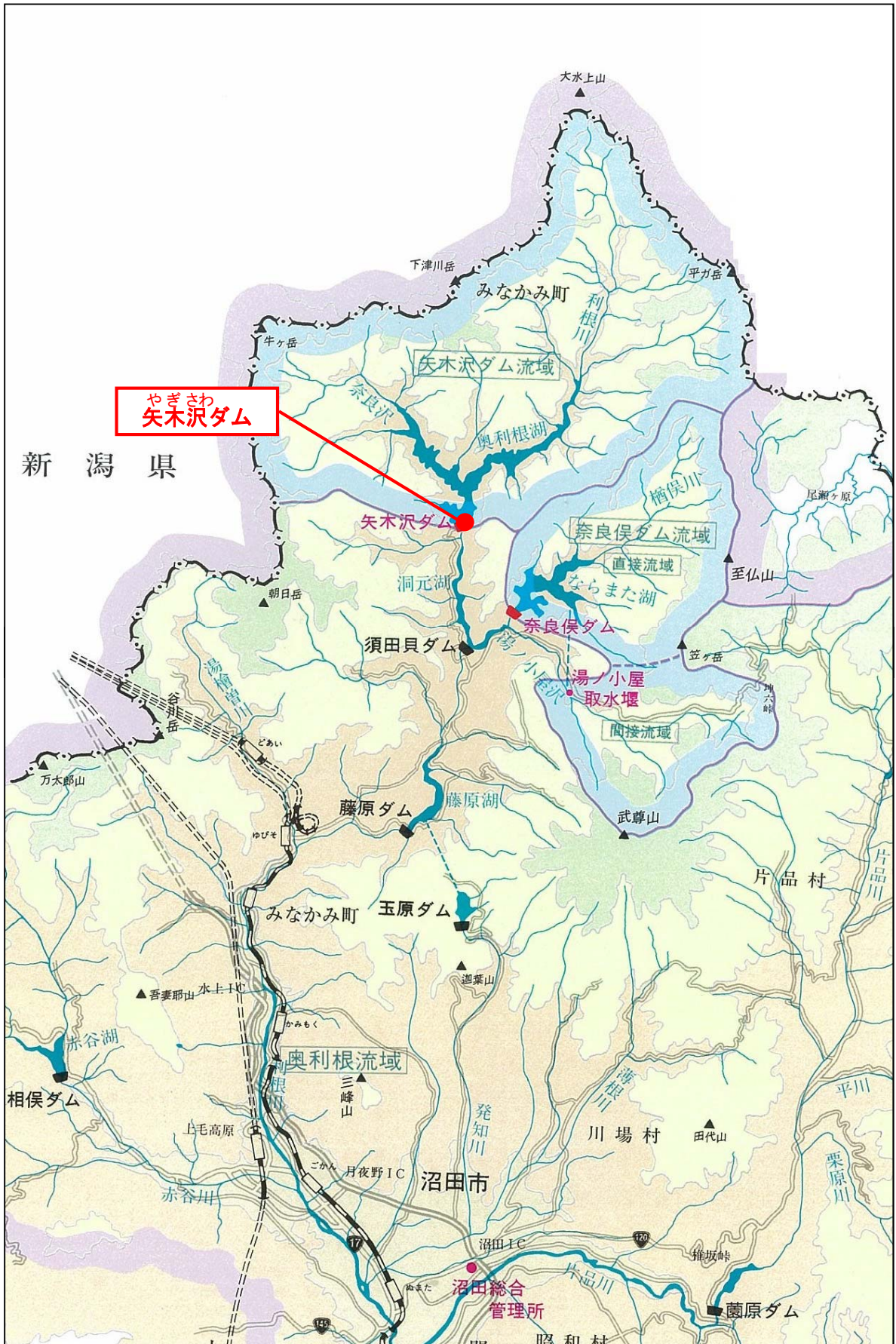
この降雨によって、ダムへの流入量が増えたことにより、
2日16時30分に流入量（最大で毎秒約124立方メートル）が
洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため防災操作を実施し、
ダムに約46万立方メートル全てを貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めていきます。

※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図

